

A long time ago, I heard something interesting on the radio. A biologist was recounting a discussion he'd had with a layman colleague. They were in the prairies, an area of Canada with wide expanses of flat farmland. The main crop is wheat. In some areas, it almost seems the wheat stretches to the horizon in all directions. The colleague mentioned how beautiful the endless stretches of golden grass looked fluttering gently in the wind. The biologist had a very different impression. He felt it a monstrous shame that humans had wiped out the natural landscape, with a wide variety of plant and animal species, and replaced it with huge territory of just a single species: wheat and nothing else.

I was taken aback. My beautiful vision of waves of wheat calmly swaying across the land seemed to have suddenly, irrevocably darkened. All my life, was this vision I had thoroughly wrong? Well, as are most things in life perhaps, the situation is probably more nuanced than simply right or wrong. However, I think it's an interesting illustration of the way in which my views of the world, the things I assume to be true, are suddenly turned upside down. This kind of thing has happened many times throughout my life. I have little doubt this will happen again. Although I hesitate to give advice, perhaps this brings up a question worth pondering: Shouldn't we all remain open to this possibility? The possibility we are wrong, and that are views should change?

昔、ラジオで面白いことを聞きました。ある生物学者が、生物学のことは全く知らない同僚と議論したことについて語っていました。彼らは、平坦な農地が広がっているカナダの大草原にいました。その主な作物は小麦です。一部の地区では、小麦がすべての方向に地平線まで伸びているように見えます。同僚が、果てしなく広がる金色の草がなんと美しく風になびいているんだと述べると、生物学者は全く感想が違うと言うのです。そして、彼がひどく残念に思っているのは、人間が、多種多様な動植物の種で埋め尽くされていたであろう自然の景観を一掃し、それを小麦というただ一つだけの種だけの広大な領土に置き換えたことです。小麦の他には何もないではないかと言うのです。私ははっとしました。私が思い描いた、小麦の波が穏やかに土地を横切りながら揺れる美しい光景が、突然、取り返しのつかないほど真っ暗になったようでした。これまでの私の人生において、私が見てきた景色は完全に間違っていたのでしょうか。おそらく人生のほとんどのものがそうであるように、その時々状況は、おそらく単に正しいか間違っているかということよりも微妙な意味合いが含まれます。このラジオでの発見は、世界の見方・真実とと思っていることが突然覆ることがあるということを示す興味深い例です。このようなことは今までの私の人生で何度も起こりました。そして、このようなことがまた起こることは間違いありません。私はアドバイスをすることが好きではありませんが、おそらく私のこの経験から、よく考えてみる価値のある問いにたどりついたのです。私たちは皆、こんなことが起こるかもしれないと思っていた方がいいと思いませんか。私たちが間違っていて、ものの見方の方を変えるべきだということはあるかも知れませんよ。

D.M. Allworth

【週行事予定】

月	日	曜	行事予定	FT	課外	備考
7月	12	月	FT: 各種委員会 成績確認票配布	○	C	7:25 登校
	13	火		○	C	7:25 登校
	14	水		×	C	7:25 登校
	15	木	⑦EX祭体育の部結団式	○	C	7:25 登校
	16	金		○	C	7:25 登校
	17	土				
	18	日				
	19	月		○	A	7:25 登校
	20	火		○	A	7:25 登校
	21	水	クラスマッチ 自分で作るお弁当の日	×		8:15 登校
	22	木	海の日			
	23	金	スポーツの日			
	24	土				
	25	日				